

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きが続いている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、持ち直しの動きが続いているが、サービス消費などで下押し圧力が強まっている。設備投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。住宅投資は、減少している。こうした中、生産は、持ち直している。雇用・所得環境をみると、弱めの動きとなっている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準にあるほか、災害復旧工事等もあり、緩やかに増加している。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

12月短観（東北地区）における2020年度の設備投資をみると、一部に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた投資の先送りがみられることから、製造業・非製造業ともに前年を下回る計画となっている。

個人消費は、持ち直しの動きが続いているが、サービス消費などで下押し圧力が強まっている。

主要小売業販売額は業態ごとのばらつきが続いている。内訳をみると、スーパーやドラッグストアは増加している一方、百貨店やコンビニエンスストアは減少している。耐久消費財をみると、家電販売額は増加している。また、乗用車販売は新型車投入効果などから持ち直している。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響から、飲食・宿泊を中心に、厳しい状態となっている。

住宅投資は、貸家着工を中心に減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

主要業種別にみると、輸送機械は、新型車の販売好調などを受けて堅調に推移している。生産用機械等は、総じて増加している。電子部品・デバイスは、車載向けやスマホ向けなどで持ち直している。食料品は、低調な動きとなっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、弱めの動きとなっている。

労働需給は求人が弱めの動きとなっているほか、雇用者所得も下押し圧力がみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格の下落などから、前年を下回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

6. 金融情勢

預金動向をみると、個人・法人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
